

# 広島県

定数： 8 名

立候補者数： 6 名



氏名 谷口 亮治

都道府県士会 広島県

年齢 56

勤務先名称 広島市立北部医療センター安佐市民病院



氏名 細井 俊希

都道府県士会 広島県

年齢 55

勤務先名称

### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成19年～27年	広島県理学療法士会	事務局長
平成28年～31年	広島県理学療法士会	広島北支部長
令和元年～4年	広島県理学療法士会	監事
令和5年～	広島県理学療法士会	副会長
平成26年～	日本理学療法士協会	代議員

現在に至る。

日頃よりご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

私は、高齢化社会と生活習慣病の増加に伴い、重要性を増す理学療法士の役割を地域貢献と次世代育成の2つの軸で推進したいという強い思いから、日本理学療法士協会代議員に立候補いたします。

我々は、病院や診療所での治療だけでなく、地域における健康増進や介護予防にも貢献しています。高齢者向けの体操教室や訪問リハビリテーションなど、地域のニーズに合わせた活動を通じて、理学療法士は住民の健康と自立を支える存在です。一方で、需要の増加に伴い、質の高い人材育成が課題となっています。

そこで、私は以下の3つの取り組みを推進します。

1. 高齢者・障害者への理学療法の重要性を行政に働きかけ、地域医療への貢献を強化する。
2. 新人理学療法士向けの研修プログラムを充実させ、質の高い指導体制を構築する。
3. ワークライフバランスや働き方改革など、理学療法士が働きやすい環境づくりを推進する。

地域医療への貢献と新人育成を両立することで、理学療法士の可能性を広げ、未来を担う人材を育成したいと考えております。

会員の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

日本理学療法士協会代議員	(2021～)
日本予防理学療法学会理事	(～2022)
広島県理学療法士会理事	(2021～2023)

回復期・特養・訪問・教員などを経て現在はフリーで活動しており、訪問リハや特別支援学校での業務に加えて、月2回地元商店街で「まちのリハビリ相談室」を開設している

2021年から2年間、広島県理学療法士会で理事を務めました。今後は、他の会員の方たちのご意見なども踏まえて、理事としてではなく一会員としての意見を県士会や協会に伝える役割を担えればと思っています。会員の皆さまと一緒に、理学療法士の未来について考えていければ幸いです。よろしく願いいたします。



氏名 甲田 宗嗣

都道府県士会 広島県

年齢 46

勤務先名称 広島都市学園大学



氏名 猪村 剛史

都道府県士会 広島県

年齢 37

勤務先名称 広島都市学園大学

### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【日本理学療法士協会役員歴】日本理学療法士協会代議員（2010～現在）、協会・士会連携強化小委員会委員（2019～2020）、新組織検討委員会委員（2020～2022）、選挙制度検討小委員会（2021～2022）

【広島県理学療法士会役員歴】学術局学術誌部長（2003～2009）、学術局学術研究部長（2009～2011）、常任理事・広報局長（2011～2015）、副会長・職能調査部長（2015～2019）、会長（2019～現在）

私は、現在、広島県理学療法士会会長（3期5年目）として、広島県理学療法士会の会務全般が円滑に遂行されるよう努めています。私は会長として、1）地域の力を発揮させるための組織力強化、2）生涯学習を充実させる仕組み作り、3）専門性を活かした地域・社会活動への参加という目標を掲げ、さまざまな取り組みを行いました。1）については、広島県内にある11支部の支部長に理事になっていただくことで、各地域での県士会活動を充実させ、顔の見える組織づくりを推進させる基盤を作りました。2）については、会員が研修会を企画運営し、その対価をお支払いするシステムを構築することで、持続可能な生涯学習体制を整備しました。3）については、専門的知識を持つ会員が参画し、一定期間に集中して課題に対応するために、執行委員会の枠組みを設け、地域包括ケアシステムや脳卒中・循環器病対策基本法に対応した取り組みを行なっています。

日本理学療法士協会は、何十人の職員を抱え、常に数名の常務理事がいる企業のような組織ですが、都道府県理学療法士会は、規模は格段に小さく、企業というより互助会のような組織です。互助会のような組織をうまく機能させるためには、スーパースターが一人や二人いただけでは持続せず、多くの人が、立ち替わり入れ替わり協力できる仕組みを作る必要があります。上述した3つの取り組みは、その一例です。

代議員として、規模も仕組みも違うこの二つの団体を機能統合できるよう活動したと考えます。

### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

・協会役員歴				
2018年～	公益社団法人	日本理学療法士協会	代議員	
・士会役員歴				
2015年～	公益社団法人	広島県理学療法士会	理事	
2019年～	公益社団法人	広島県理学療法士会	常任理事	（広報局長）
2023年～	公益社団法人	広島県理学療法士会	常任理事	（職能局長）

理学療法士や理学療法の対象者が直面する様々な課題・困難に対し、医療・保健・福祉等、あらゆる側面から舵取りをしている日本理学療法士協会にとって、何より重要となるのは多様な現場からの「声」だと考えています。日本理学療法士協会が掲げる『理学療法士の職域の強化・防衛と拡大・開拓』に際し、現場からの多くの声により功を奏した出来事がいくつもあったことは記憶に新しいことと思われまます。2018年より代議員を務めさせていただく中で、理学療法士を取り巻く環境や理学療法士の働き方が多様化している時代において様々な現場と日本理学療法士協会の架け橋となる代議員が果たすべき役割の大きさを感じております。

広島県内に所属する理学療法士の皆様の想いや活動が少しでも日本理学療法士協会に適切に届き、その方向性に反映されるよう効率的かつ効果的に職責を果たす所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 田原 岳治

都道府県士会 広島県

年齢 44

勤務先名称 医療法人社団増原会東城病院



氏名 山口 雅子

都道府県士会 広島県

年齢 57

勤務先名称 広島パークヒル病院

### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【社会が、理学療法士を活用し続けるために】  
私は、社会が我々を活用し続けることを願っています。理学療法士を志された方は、少なからず、他者への貢献に「職業上のやりがい」を期待したと思います。私もそのひとりです。これは、我々に共通する深層意識だと思えます。このようにして、他者貢献を喜び人の集合体である“日本理学療法士協会”は、社会貢献にもってこの集団です。  
社会は、協会を通じて、理学療法士をどんどん活用し続けるべきです。我々の視点から見れば、従来からの活動が続けられること、あたらしい活躍の場が広がること、とも言えます。  
社会が理学療法士を活用するには、以下の2つが課題です。  
①誰に、どのようにして、理学療法士の価値を伝えるべきかー  
②社会資源としての「理学療法士の質」をどうやって、どの分野に向けて高めるかー  
これらの課題解決のために、私は以上の信念のもと、代議員として活動いたします。どうかよろしくお願いたします。

～日本理学療法士協会活動歴・県理学療法士会活動歴～  
(石川県理学療法士会)  
H19-20公益事業部(副部長)市民参加イベントでの足底観察や相談事業  
(広島県理学療法士会)  
R3-4会員情報部 会報誌の編集  
普及推進部 広報誌の編集、タイハツ「健康安全運転講座」  
R5-広報部 会報誌・広報誌の編集  
職域部(部長/理事)「7月17日は理学療法士の日」事業、  
協会指定管理者に関する事業、市民参加イベント事業など

### 協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【日本理学療法士協会役員歴】  
H14～H27 教育局生涯学習部員、生涯学習業務執行委員会小委員会委員  
H19～現在 代議員  
R2 ～現在 認定・専門理学療法士審査部会部長  
R5 ～現在 役員報酬等委員会委員、管理者研修制度検討委員会委員  
【広島県理学療法士会役員歴等】  
H13～H27 理事：学術局長・教育局長(～H17)、副会長(～H27)  
H27～R2 監事  
H19 第21回中国ブロック理学療法士学会 学会長  
H21～R3 中国ブロック理学療法士会学会評議委員会委員、H25～委員長

代議員に立候補しました山口雅子と申します。私は、高齢者の医療・介護サービスを担う、病院・介護事業所のリハビリテーション部門で管理運営の任に就いています。様々な価値観や人生観を持った、幅広い年代のスタッフとともに働き、多くの刺激と学びを得ながら、また、理学療法士を取り巻く環境の変化に頭を悩ませながら、「人材育成」や「働き方改革」に取り組んでいます。

代議員は、総会での討議や議決への参加と役員選挙の投票という重要な役割を持つ、会員の代表です。様々な職域・規模・立場で活動する、多様な環境下の会員層から代議員が選出されるのが健全な姿と考えます。現在、300人の代議員のうち女性は21名で、中国ブロックでは私一人ですが、広島県から複数の女性代議員が選任されることを期待しつつ、続けて代議員に立候補いたしました。これまでも理事会の傍聴、総会での質疑等、代議員の責任を果たすべく務めてまいりましたが、近年の総会では賛否が拮抗する議決もなされ、重責を再認識するところです。

中小規模の医療・介護の現場で働く会員の一人として、これからも代議員として活動したいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。